

1801 史料の収集・翻刻・解析による過去の大地震および自然災害の調査  
担当者 加納靖之 (kano@rcep.dpri.kyoto-u.ac.jp)

・実施機関（代表機関）名

京都大学防災研究所

・研究目的

地震史料の収集、翻刻、解析により、過去の地震および関連する現象についての情報を得る。特に南海トラフの巨大地震にともなう上下地殻変動の解明、および、既に知られている地震の本震・余震の分離や震源の確定、地震にともなう災害（強震動、洪水、地盤沈下、地すべりなど）の理解を目指す。地震が一定の期間を置いて繰り返す性質があることから、過去の履歴をより詳細にとらえることで防災・減災に貢献する。また、史料には地震そのものだけでなく、これによる被害状況やそれへの対応などの情報も含まれており、研究計画のことばを借りれば「災害誘因」「災害素因」を合わせた情報を得ることにより、地域の防災・減災に貢献できると考えている。